

4 今月の星空

上旬 中旬 下旬
22 時頃 21 時頃 20 時頃

天文現象など

- 4/2 下弦 ☾
- 4/6 月・火星・土星が並ぶ (明け方・東の空)
- 4/9 新月 ☽ (北アメリカ方面で皆既日食)
- 4/10,11 月と木星が並ぶ (夕方・西の空)
- 4/11 月とすばるが並ぶ (夕方・西の空)
- 4/12 月とアルデバランが並ぶ
- 4/15 月とボルクスが並ぶ
- 4/16 上弦 ☽
- 4/18 月とレグルスが並ぶ
- 4/22,23 月とスピカが並ぶ
- 4/24 満月 ●
- 4/26 月とアンタレスが並ぶ (26日深夜~27日朝)

星空ワンポイント

しし座には、「?」を鏡にうつしたような星並びがあります。日本では「といかけぼし」と呼ばれることがありますが、これは「問いかけ」ではなく「樋掛け」のこと。雨どいを支える金具の形に見立てて、この名前と呼ばれるそうですよ。



★ 1等星
● 2等星
● 3等星
● 4等星以下

星図は空にかざして使います。東の空を眺めるときは、星図の東が下になるように持ってかざします。



© 国立天文台

今月の一枚

『南天の夜空を見上げるアンテナたち』

南米・チリのアタカマ砂漠に建設された大型電波望遠鏡群「ALMA」。

ALMAが見上げる先には、大マゼラン雲や小マゼラン雲、南十字星など、南半球ならではの星空が広がっています。標高が高いために大気層が薄く、乾燥した地域であるアタカマ砂漠は、宇宙の観測にぴったりの場所。この場所で、視力「6000」とも例えられる66基のアンテナたちが、かすかな電波をキャッチし、世界中の研究者たちが驚く宇宙の姿を描き出してきました。現在上映中の大型映像『ORIGIN』では、成果のひとつである原始星の観測についてご紹介しています。

本格的な運用が始まってから10年、これからの活躍にも目が離せません。



赤道上で見る星空

大人向けプラネタリウム 赤道上で見る星空

南天をテーマにしたプラネタリウムがよく春に投影されるのは、南十字星の見頃が春であることと関係しているとかいえないとか。

4月の大人向けプラネタリウムでは、見頃の南十字星はもちろんのこと、全天の星を眺めることができる、赤道上の地域からの星空をお楽しみいただけます。

開催：4月24日(水) 13:10~13:55
対象：中学生~大人
※小学生以下は入場不可

2024.4

☐ …休館日

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12 0歳プラネ	13 観望会
14	15	16	17 おもいやり	18	19	20
21	22	23	24 大人向け	25	26	27
28	29	30				

各日のイベント・投影の内容や参加方法については 当館 web サイトまたはロクトニュースにてご確認ください



イベントカレンダー